



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月13日

上場会社名 Aiロボティクス株式会社 上場取引所 東
コード番号 247A URL <https://ai-robotics.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 龍川 誠
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 坂元 優太 TEL 03-6809-0142
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 中間純利益 | |
|-------------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年3月期中間期 | 6,335 | 89.7 | 1,204 | 56.1 | 1,161 | 52.2 | 817 | 47.7 |
| 2024年3月期中間期 | 3,338 | - | 771 | - | 762 | - | 553 | - |

| | 1株当たり 中間純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益 |
|-------------|----------------|---------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年3月期中間期 | 86.45 | 73.08 |
| 2024年3月期中間期 | - | - |

- (注) 1. 2024年3月期中間期の数値については、公認会計士又は監査法人のレビューを受けていない参考情報として記載しております。
2. 当社は、2024年6月14日付で普通株式1株につき2,000株の割合で株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり中間純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり中間純利益」を算定しております。
3. 当社は、2024年9月27日に東京証券取引所グロース市場に上場しております。2025年3月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益は、新規上場日から2025年3月期中間期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2025年3月期中間期 | 6,169 | 2,420 | 39.2 |
| 2024年3月期 | 4,555 | 1,129 | 24.8 |

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 2,420百万円 2024年3月期 1,128百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期 | - | 0.00 | - | 0.00 | 0.00 |
| 2025年3月期 | - | 0.00 | - | - | - |
| 2025年3月期（予想） | - | - | - | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|------|-------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 10,800 | 53.0 | 1,751 | 39.3 | 1,700 | 37.7 | 1,200 | 45.5 | 115.38 |

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2024年6月14日付で普通株式1株につき2,000株の割合で株式分割を行っております。当事業年度の

期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

詳細は、添付資料P. 8「2. 中間財務諸表及び主な注記(4) 中間財務諸表に関する注記事項(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|-------------|-------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2025年3月期中間期 | 11,364,000株 | 2024年3月期 | 6,000,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2025年3月期中間期 | 一株 | 2024年3月期 | 一株 |
| ③ 期中平均株式数(中間期) | 2025年3月期中間期 | 9,455,749株 | 2024年3月期中間期 | 6,000,000株 |

(注) 当社は、2024年6月14日付で普通株式1株につき2,000株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概要(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|---------------------------------|---|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当中間期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当中間期の財政状態の概況 | 2 |
| (3) 当中間期のキャッシュフローの概況 | 2 |
| (4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 中間財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 中間貸借対照表 | 4 |
| (2) 中間損益計算書 | 6 |
| (3) 中間キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 中間財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) | 8 |
| (セグメント情報等の注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間における我が国経済は、2024年の春闘賃上げ率が前年を大きく上回ったことから、雇用所得環境の改善が見込まれることや、原油・原材料価格の高騰や、円安の進行も一服しており、緩やかに回復しております。

当社が主に事業展開を行う国内のスキンケア市場は、2023年において、1.3兆円に達しており（出所：富士経済グループ「化粧品マーケティング要覧2024」）、将来においても当社の成長機会は十分に見込まれると考えております。また、美容家電ブランド「Brighte」が属する、国内の美容・健康家電/健康家電市場は、2023年において3,922億円の市場規模が見込まれ、市場拡大が予想されています。（出所：富士経済グループ「美容&健康家電市場・関連サービストレンドデータ 2023-2024」）

このような環境下において、当社は2024年9月27日付で東京証券取引所グロース市場に上場し、より一層の企業成長に取り組んでおります。

当社の主力ブランドである「Yunth」より、当中間会計期間において、新たに「生VCホワイトクリアフォーム」「美白ハンドセラム」の発売を開始し、ブランドラインナップを拡大しております。大人気商品である「生VC美白美容液」については、依然として楽天美容液ランキングで1位を獲得しており、堅調にご愛顧いただいております。

美容家電ブランドの「Brighte」についても、「ELEKIBRUSH」が楽天デイリーランキング、週間ランキングで1位を獲得する等、大変好調に販売数を伸ばしております。

以上の結果、当中間会計期間の売上高は6,335,381千円、営業利益は1,204,242千円、経常利益は1,161,320千円、中間純利益は817,402千円となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間会計期間末における資産合計は6,169,660千円となり、前事業年度末に比べ1,614,465千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が663,618千円、売掛金が432,679千円、商品及び貯蔵品が189,275千円、前渡金が96,086千円、有形固定資産が222,854千円増加したことによるものです。

(負債)

当中間会計期間末における負債合計は3,749,138千円となり、前事業年度末に比べ323,121千円増加いたしました。これは主に、買掛金が68,256千円、未払金が264,393千円、未払法人税等が66,801千円、未払消費税等が86,012千円増加し、有利子負債が176,714千円減少したことによるものです。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産合計は2,420,521千円となり、前事業年度末に比べ1,291,343千円増加いたしました。これは、中間純利益の計上により利益剰余金が817,402千円増加したこと及び2024年9月に実施した公募増資等により資本金が236,970千円、資本準備金が236,970千円増加したことによるものであります。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、3,671,125千円となりました。当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、608,656千円となりました。これは主に売上債権の増加額432,679千円、棚卸資産の増加額189,275千円、前渡金の増加額96,086千円があったものの、税引前中間純利益1,161,320千円の資金増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、147,247千円となりました。これは主に定期預金の払戻による収入90,000千円があったものの、有形固定資産の取得による支出234,648千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、292,210千円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出221,714千円、社債の償還による支出268,000千円があったものの、長期借入れによる収入313,000千円、新株の発行による収入473,941千円があったことによるものであります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年9月27日に公表いたしました業績予想から変更はありません。
今後、修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定です。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2024年3月31日) | 当中間会計期間 (2024年9月30日) |
|------------------|-----------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,017,507 | 3,681,125 |
| 売掛金 | 701,049 | 1,133,728 |
| 商品 | 503,988 | 619,106 |
| 貯蔵品 | 23,860 | 98,017 |
| 前渡金 | 75,957 | 172,043 |
| その他 | 18,054 | 31,483 |
| 流動資産合計 | 4,340,416 | 5,735,507 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | — | 205,684 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | — | △4,728 |
| 建物(純額) | — | 200,956 |
| 工具、器具及び備品 | 17,606 | 63,589 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △6,182 | △15,006 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 11,424 | 48,582 |
| リース資産 | — | 3,336 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | — | △333 |
| リース資産(純額) | — | 3,002 |
| 建設仮勘定 | 20,235 | — |
| 一括償却資産 | 2,948 | 4,921 |
| 有形固定資産合計 | 34,608 | 257,463 |
| 投資その他の資産 | | |
| 出資金 | 10 | 10 |
| 長期前払費用 | 979 | 1,368 |
| 敷金及び保証金 | 98,638 | 99,915 |
| 繰延税金資産 | 58,451 | 58,451 |
| 投資その他の資産合計 | 158,079 | 159,745 |
| 固定資産合計 | 192,688 | 417,208 |
| 繰延資産 | | |
| 社債発行費 | 22,089 | 16,944 |
| 繰延資産合計 | 22,089 | 16,944 |
| 資産合計 | 4,555,194 | 6,169,660 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2024年3月31日) | 当中間会計期間 (2024年9月30日) |
|---------------|-----------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 185,039 | 253,295 |
| 1年内償還予定の社債 | 488,000 | 380,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 394,952 | 392,393 |
| 未払金 | 568,347 | 832,740 |
| 未払法人税等 | 299,105 | 365,907 |
| 未払消費税等 | 36,806 | 122,818 |
| リース債務 | - | 3,302 |
| その他 | 62,310 | 73,380 |
| 流動負債合計 | 2,034,561 | 2,423,838 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 701,525 | 541,525 |
| 長期借入金 | 689,930 | 783,775 |
| 固定負債合計 | 1,391,455 | 1,325,300 |
| 負債合計 | 3,426,016 | 3,749,138 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 576,673 | 813,644 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 573,673 | 810,644 |
| 資本剰余金合計 | 573,673 | 810,644 |
| 利益剰余金 | | |
| その他利益剰余金 | | |
| 繰越利益剰余金 | △21,499 | 795,903 |
| 利益剰余金合計 | △21,499 | 795,903 |
| 株主資本合計 | 1,128,847 | 2,420,191 |
| 新株予約権 | 330 | 330 |
| 純資産合計 | 1,129,177 | 2,420,521 |
| 負債純資産合計 | 4,555,194 | 6,169,660 |

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

| | 当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) |
|------------|--|
| 売上高 | 6,335,381 |
| 売上原価 | 1,322,229 |
| 売上総利益 | 5,013,151 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,808,909 |
| 営業利益 | 1,204,242 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 330 |
| 営業外収益合計 | 330 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 6,293 |
| 社債利息 | 2,247 |
| 社債発行費償却 | 5,144 |
| 上場関連費用 | 19,602 |
| 為替差損 | 9,237 |
| その他 | 727 |
| 営業外費用合計 | 43,252 |
| 経常利益 | 1,161,320 |
| 税引前中間純利益 | 1,161,320 |
| 法人税等 | 343,917 |
| 中間純利益 | 817,402 |

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| 当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) | |
|--|------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税引前中間純利益 | 1,161,320 |
| 減価償却費 | 15,129 |
| 受取利息 | △330 |
| 支払利息 | 6,293 |
| 社債利息 | 2,247 |
| 社債発行費償却 | 5,144 |
| 上場関連費用 | 19,602 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △432,679 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △189,275 |
| 前渡金の増減額 (△は増加) | △96,086 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 68,256 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | 249,774 |
| 未払法人税等の増減額 (△は減少) | 4,729 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | 86,012 |
| その他 | △1,425 |
| 小計 | 898,711 |
| 利息の受取額 | 330 |
| 利息の支払額 | △8,540 |
| 法人税等の支払額 | △281,845 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 608,656 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 定期預金の払戻による収入 | 90,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △234,648 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △4,839 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 2,240 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △147,247 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 長期借入れによる収入 | 313,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △221,714 |
| 社債の償還による支出 | △268,000 |
| 新株予約権の行使による株式の発行による収入 | 101,525 |
| 株式の発行による収入 | 372,416 |
| 上場関連費用の支出 | △4,983 |
| リース債務の返済による支出 | △33 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 292,210 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 753,618 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,917,507 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 3,671,125 |

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当中間会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

当社は、D2Cブランド事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当中間会計期間において、新株予約権の行使による株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ50,762千円増加しております。

また、2024年9月27日に東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。この上場にあたり、2024年9月26日を払込期日とする一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株式230,000株の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ186,208千円増加しております。

この結果、当中間会計期間末において資本金が813,644千円、資本準備金が810,644千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。